

高志中学校での学校生活

1 高志中学校の学習指導の大きな特徴

(1) 学習

①教育課程

高志中学校の教育課程の特徴は、3年生で高校の内容を学ぶことや高志中学校独自の教科を設定していることです。また、数学、理科、英語、国語において一般の中学校より授業時間数を多く設定しており、時間をかけて教科の知識を身に付け、思考力、判断力、表現力などこれから必要とされる能力を養います。

下表はみなさんが3年間で学ぶ授業科目の一覧です。表中の各教科の幅は1週間の授業時間数を示しています（例えば、1年生は国語が4時間あります）。

☆高志中学校の教育課程

時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
中1	国語				社会			数学					理科			英語			英表	家庭術	音楽	美術	体育保健			高志学	道徳	学活					
中2	国語				社会			数学					理科			英語			英表	家庭術	音楽	美術	体育保健			高志学	道徳	学活					
中3	国語	論基	社会			数学					理科			理科	英語			英表	家庭術	音楽	美術	体育保健			高志学	道徳	学活						

で囲まれた教科は高校の内容 **太字**は高志中学校独自の教科 論基：論文基礎 英表：英語表現基礎

【数 学】 中学3年次に高校「理数数学I」の一部を先行履修します。

一般の中学校より1年次で週1時間、2年次で週2時間多く授業時間数があります。また、中高一貫校用テキストを使用し、内容の重複を抑えて効率的に授業を進めます。中学2年までに中学校の数学を終え、3年次には高校で学習する「理数数学I」の一部を先行履修します。

〔例〕 中学1年次に使用する中高一貫校用テキスト『体系数学1（代数編）』の内容

- 第2章 式の計算・・・・・・・・・・・・・中学2年の内容を含む
- 第3章 方程式・・・・・・・・・・・・・中学2年の内容を含む
- 第5章 1次関数・・・・・・・・・・・・・中学2年の内容を含む

【理 科】 中学3年次に高校「理数生物」の一部を先行履修します。

一般の中学校より1年次で週1時間、3年次で週1時間多く授業時間数があります。中学3年次には高校で学習する「理数生物」の一部を先行履修します。

また、平成15年度から継続して指定されてきたSSH（スーパーサイエンスハイスクール）ならではの整った実験・観察設備を活用して、より高度な学習をし、理科への興味関心を高めます。

☆例えば、高性能の顕微鏡を利用した細胞内のより細かな構造の観察、直視分光器や分光器計測システムを用いた光の観察・実験、低周波発振器やデジタルストレージオシロスコープを用いた音の実験、放射線特性実験セットを用いた放射線の測定実験、精密てんびんを用いた化学実験など、発展的な学習が可能です。

【英 語】 週3時間のALT参加の授業で英語実践力を養います。

一般の中学校より毎学年週1時間多く設定している授業時間を活用して、高志中学校独自の学校設定教科「英語表現基礎」を学習します。教育目標に掲げた「世界に通用する語学力と国際感覚の育成」の実現のために、異なる文化を持つ人と英語を介して積極的にコミュニケーションをとることで、実践力が身につく英語教育を目指していきます。

☆週1時間の「英語表現基礎」では、オールイングリッシュのテキストを用い、ALT（外国語指導助手）の単独指導による授業を行います。

☆週4時間の英語の授業のうち、2時間はALTが参加します。

☆毎週1回、『コーパス1800』（東京書籍）などを使って単語テストを行います。

☆1年次に副読本『POWER UP PHONICS』（浜島書店）を使って、音声と綴りの学習（フォニックス）を行います。

【国 語】 中学3年次に「卒業論文」にチャレンジします。

3年次に週1時間の授業時間数を、高志中学校ならではの学校設定教科「論文基礎」に充て、論文の書き方を学びます。また、古典に触れる機会を多くとることで、古典に親しみ楽しむ姿勢を養い、高校の古典文法や文学史、古典常識をスムーズに学べることを目指しています。

☆1・2年次に論理的思考力を育てる授業を積み上げ、3年次の「論文基礎」では卒業論文を作成します。

☆3年間継続して古典講読の時間を設けています。高志中学校・高校国語科が独自で作成した『読んで楽しむ音読古典』を使って、今昔物語、宇治拾遺物語、御伽草子等を読むことにより古典のリズムに慣れ、内容を理解します。また、これらの作品は高校で学ぶものが多く、大学入試対策にもつながります。

【社 会】 高校の学習内容にも踏み込んで6年間を見通した学習を行います。

中学校の社会科には「地理」「歴史」「公民」の3分野ありますが、高校では「地理総合」「地理探究」「歴史総合」「日本史探究」「世界史探究」「公共」「倫理」「政経」となります。中高一貫教育の中では、これらを結びつけて中学の段階から高校の学習ポイントも織り込みながら学習を進めます。

☆地図や文献などのさまざまな資料を参考にしながら、歴史上の人物の功績を比較・評価したり、歴史的事象の原因や結果を解明したりする探究学習を行います。

☆地理的事象の原理（例：気候の原理、都市の立地要因）まで追究する探究学習を行います。

【音楽 美術 保健体育 技術・家庭】 5教科以外にも十分な授業時間を確保します。

これらの教科にも十分な授業時数を確保しています。一人ひとりがテーマを設定し、時間をかけて作品制作やレポート作成などの学習活動に取り組みます。このような取り組みを通して構想したり表現したりする力を養うことは、高校での様々な学習に役立ちます。

☆ねらいに応じて教科が連携することで内容の濃い授業を行っています。例えば美術で「生活を豊かにする家具のデザイン」を考え、模型をつくったあと、技術の「木材加工」でいろいろな技法を学びながら、実際に家具を製作します。このような過程で、実感的に思考力、判断力を働かせながら自分が思い描いたことを実現していきます。

☆保健体育は中・高の教員がそれぞれ専門分野をもっており、専門性を活かして質の高い授業を行います。それにより、さまざまなスポーツへの関心を高めることができます。また、新しい競技へ挑戦しようとする意欲を養うことができます。

【高志学】

みなさんには、本校の校訓である「克己（自律した）・創造（問題を解決できる）・敬愛（他者を理解し尊重する）」を大事にし、「ふるさと福井」を大切にするとともに、国際的な考え方や態度を身につけてくれることを期待しています。本校独自の探究学習活動である「高志学」では、新しいことにチャレンジし、社会を変えることのできる人になるために、以下の3つを柱とした「学び」が用意されています。

○「ふるさと学習プログラム」

自分が育ったふるさと福井について、調査や取材等を行い、魅力や課題などを学びます。

「福井の資源（たから）」を知る … 福井の人物、食、環境、自然などを学びます。

「福井の歴史（とき）」を知る …… 福井の歴史、事象、由来などを学びます。

「福井の風土（くらし）」を知る … 福井の産業、文化、風習などを学びます。

○「キャリア教育プログラム」

国内外で新しいリーダーとして活躍するために、自分がどのような役割を担うことができるのか、そのために何を学んでいくべきかを一人ひとりが見つめ、深く考えます。

「福井で働くⅠ」

福井で研究開発、医療、金融、流通などの分野で活躍している方々、起業家の方々などを迎えて授業を行い、自らが将来働くイメージを明確にします。

「福井で働くⅡ」

企業、研究機関、行政機関等で3日間程度のインターンシップを実施し、地元企業と海外のつながりや地元企業の優れた技を体感します。

「夢を描く」

高志高校を卒業し各界で活躍する方や大学で学んでいる方の話を聞いたり意見交換をしたりして、将来の自分の進路を考え、自らの目標を明確にします。

○「課題探究プログラム」

主体的に計画を立ててすすめる課題解決学習により自己の将来像についての思索を深め、国際社会および地域社会のリーダーとして活躍するための能力や態度を養います。

「社会を体感する」

主体的に計画を立て、国内の大学、企業、研究機関、あるいはアジアなど国外の大学や企業で、テーマに基づいた実践的な研修を行います。

「福井の未来を考える」

ふるさと学習プログラムやキャリア教育プログラムの学習成果をふまえて、これからの福井を考え、「福井の未来」について研究レポートを作成します。

「新しい時代を拓く」

自らの研究テーマを設定し、文献やフィールド・ワークなどを通じた調査、研究を行い、研究論文をまとめます。